



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東北新社
コード番号 2329 URL <https://www.tfc.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 清隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 伊藤 良平 TEL 03-5414-0211
四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,122	△20.5	△281	—	△174	—	△336	—
2020年3月期第1四半期	13,982	△1.9	610	—	800	456.3	414	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 155百万円 (△61.3%) 2020年3月期第1四半期 402百万円 (584.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△7.49	—
2020年3月期第1四半期	9.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	86,180	69,210	79.8
2020年3月期	89,861	69,792	77.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 68,743百万円 2020年3月期 69,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2021年3月期の配当予想につきましては、未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を現段階で合理的に算定することが困難であることにより、未定とさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	46,735,334株	2020年3月期	46,735,334株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,786,847株	2020年3月期	1,786,847株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	44,948,487株	2020年3月期1Q	44,948,554株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的とした「緊急事態宣言」が発令されたことにより、当社グループの事業環境や業務遂行に影響が出ております。その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高11,122百万円（前年同期比20.5%減）、営業損失281百万円（前年同期は610百万円の営業利益）、経常損失174百万円（前年同期は800百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失336百万円（前年同期は414百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、前第3四半期連結会計期間より、組織再編に伴い、一部の報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の報告セグメント区分に組替えた数値で比較しております。

① 広告プロダクション

広告プロダクションの売上高は、前年同期に比べ49.2%減の2,895百万円となり、営業損失は96百万円（前年同期は527百万円の営業利益）となりました。CM制作部門において、複数のTVCMの制作業務が延期・中止となり、減収減益となりました。

② コンテンツプロダクション

コンテンツプロダクションの売上高は、前年同期に比べ14.9%減の2,661百万円となり、営業損失は235百万円（前年同期は225百万円の営業利益）となりました。映像制作部門で社内的大型案件の売上がありましたが、音響字幕制作部門において、業務遂行に支障が生じ、制作本数が減少したことやデジタルプロダクション部門において、TV番組やTVCMの制作業務が延期・中止となったことにより、編集業務が大幅に減少した結果、減収減益となりました。

③ メディア

メディアの売上高は、前年同期に比べ4.7%減の3,476百万円となり、営業利益は前年同期に比べ439.4%増の62百万円となりました。一部の関連チャンネルが、資本再編により連結子会社から持分法適用関連会社になったことや広告出稿の減少に伴い売上が減少しました。

一方、利益面においては、販促活動や営業活動の自粛に伴い、各種経費節減に努めた結果、増益となりました。

④ プロパティ

プロパティの売上高は、前年同期に比べ34.6%増の2,269百万円となり、営業利益は前年同期に比べ31.6%減の112百万円となりました。『牙狼<GARO>』関連の売上が増加したことにより増収となりましたが、TV配給において大型の作品販売が前年同期に比べて減少したことにより、減益となりました。

⑤ 物販

物販の売上高は、前年同期に比べ3.7%増の1,639百万円となり、営業利益は前年同期に比べ248.0%増の26百万円となりました。スーパー部門が好調に推移し、増収増益となりました。

(注) 上記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んだ金額を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、86,180百万円であり、前連結会計年度末に比べ3,680百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金の増加2,107百万円及び受取手形及び売掛金の減少5,056百万円等であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、16,970百万円であり、前連結会計年度末に比べ3,098百万円減少いたしました。この主な要因は、買掛金の減少2,753百万円等であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、69,210百万円であり、前連結会計年度末に比べ582百万円減少いたしました。この主な要因は、利益剰余金の減少1,055百万円及びその他有価証券評価差額金の増加508百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績については、新型コロナウイルス感染症の終息時期の見通しが立たないため、当社を取り巻く環境が不透明な状況が継続しております。そのため現時点におきましても、合理的な算出は困難であることから、連結業績予想は引き続き未定とさせていただきます。今後、合理的な予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,004	31,112
受取手形及び売掛金	15,291	10,234
有価証券	830	834
映像使用权	5,423	5,031
仕掛品	3,881	3,522
その他のたな卸資産	584	511
その他	1,163	642
貸倒引当金	△33	△29
流動資産合計	56,146	51,861
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,368	13,365
その他(純額)	7,127	6,976
有形固定資産合計	20,496	20,341
無形固定資産		
その他	785	771
無形固定資産合計	785	771
投資その他の資産		
投資有価証券	10,352	11,013
その他	2,257	2,385
貸倒引当金	△176	△192
投資その他の資産合計	12,432	13,206
固定資産合計	33,714	34,319
資産合計	89,861	86,180

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,861	8,107
短期借入金	760	860
未払法人税等	713	125
賞与引当金	832	396
その他	3,013	3,385
流動負債合計	16,181	12,875
固定負債		
役員退職慰労引当金	316	332
退職給付に係る負債	2,616	2,598
その他	953	1,163
固定負債合計	3,886	4,094
負債合計	20,068	16,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,487	2,487
資本剰余金	3,731	3,731
利益剰余金	63,409	62,354
自己株式	△1,728	△1,728
株主資本合計	67,900	66,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,151	2,660
繰延ヘッジ損益	△6	—
為替換算調整勘定	△413	△454
退職給付に係る調整累計額	△344	△307
その他の包括利益累計額合計	1,387	1,898
非支配株主持分	504	467
純資産合計	69,792	69,210
負債純資産合計	89,861	86,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	13,982	11,122
売上原価	10,497	8,758
売上総利益	3,485	2,364
販売費及び一般管理費	2,875	2,645
営業利益又は営業損失(△)	610	△281
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	66	60
為替差益	32	19
出資金運用益	130	97
経営指導料	25	30
その他	27	38
営業外収益合計	290	252
営業外費用		
支払利息	2	2
持分法による投資損失	87	99
支払手数料	6	6
その他	3	38
営業外費用合計	99	146
経常利益又は経常損失(△)	800	△174
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	800	△174
法人税等	377	180
四半期純利益又は四半期純損失(△)	423	△354
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	8	△18
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	414	△336

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	423	△354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	508
繰延ヘッジ損益	—	6
為替換算調整勘定	△0	△40
退職給付に係る調整額	49	36
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△1
その他の包括利益合計	△21	510
四半期包括利益	402	155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	393	173
非支配株主に係る四半期包括利益	8	△18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	広告 プロダクション	コンテンツ プロダクション	メディア	プロパティ	物販			
売上高								
外部顧客への売上高	5,638	2,188	3,574	1,146	1,433	13,982	—	13,982
セグメント間の内部 売上高又は振替高	64	939	71	539	147	1,762	△1,762	—
計	5,702	3,128	3,646	1,686	1,580	15,745	△1,762	13,982
セグメント利益	527	225	11	163	7	936	△325	610

(注) 1. セグメント利益の調整額△325百万円には、セグメント間取引消去△69百万円、不動産関連費用の調整額(近隣の賃貸相場を参考に設定した標準賃貸単価をもとに算定した標準価額と実際発生額との差額)432百万円及び全社費用△689百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	広告 プロダクション	コンテンツ プロダクション	メディア	プロパティ	物販			
売上高								
外部顧客への売上高	2,852	1,405	3,432	1,901	1,529	11,122	—	11,122
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42	1,255	43	367	109	1,819	△1,819	—
計	2,895	2,661	3,476	2,269	1,639	12,942	△1,819	11,122
セグメント利益又は損失 (△)	△96	△235	62	112	26	△130	△150	△281

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△150百万円には、セグメント間取引消去106百万円、不動産関連費用の調整額(近隣の賃貸相場を参考に設定した標準賃貸単価をもとに算定した標準価額と実際発生額との差額)427百万円及び全社費用△685百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、組織再編に伴い、従来「メディア」セグメントに含まれていたイベント事業の一部を「広告プロダクション」セグメントに移行しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。